



高齢者ケア施設における看護職の役割を理解することが出来るということ、高齢者とのコミュニケーションを図る方法を知るということを目標として、特別養護老人ホーム（主に要介護認定が3以上の高齢者を対象とした介護施設）で実習を行わせていただきました。

実習では看護師の方が施設に通所又は入居されている方と関わっている様子やケアの実際を見学、皆さまの前で体操や運動などを見ていただきました。その中で、看護師の役割は数少ない看護師だけでケアを提供するのではなく、多職種と連携を取って高齢者に良いケアを提供し、生活を支えるということが重要であるということをお勉強することが出来ました。今回の実習で得たそれぞれの学びや課題を持って今後の実習に役立てていきたいと思っております。

コミュニケーションでは、聞き取りやすい言葉でゆっくりはっきり低い声で話すという高齢者の方との基本的なコミュニケーション方法に加えて、おひとりおひとりに応じたコミュニケーションを図る方法の工夫や配慮が必要であるということをお勉強しました。今回の学びから、コミュニケーションを通して高齢者となる方の生活史を知り価値観や考え方を理解した上で最善のケアや関わりを多職種間で連携して行い入居または通所される方が快適で充実した1日を過ごすことが出来るような看護を提供していくことが老年看護の望ましいあり様であると考えました。

